

地域で支える発達障害

—関係機関でつなぐ・つながる—



発達障害者支援法の制定から丸7年がたちました。その間、発達障害児・者への支援の取り組みは心理・福祉・教育・医療・行政などさまざまな領域で行われてきています。しかし、こういった各領域での支援は、つながり、相互にかかわりあっていくことで、当事者や家族の日々の生活に活かされるものになっていくのではないのでしょうか。本シンポジウムでは関連する諸領域の方やご家族から現状における課題や状況を提示していただき、地域における活きた支援を皆様と共に考えていきたいと思っております。

多くのみなさまの参加をお待ちしています

開催日時：2012年5月26日（土）15：30～
(15:10 開場)

会場：日本福祉大学美浜キャンパス 文化ホール(12号館奥)

話題提供者

「福祉の現場から地域とつながる」

細江逸雄氏（前ならわ学園園長）

「診察室では分からなかった発達障害の生活困難さ」

石川道子氏（武庫川女子大学文学部教授）

「地域の中で家族が自分らしく生きるために」

高橋愛子氏（名古屋市北部地域療育センターOB 会ことりの会 代表・事務局）

指定討論者

杉原里子氏（豊田市青少年相談センター学校コンサルタント・社会福祉士）

蔭山英順氏（日本福祉大学子ども発達学部教授）

お申し込みは不要です。直接会場にお越しください

お問い合わせ：東海心理学会第61回大会準備委員会 tpa61th@ml.n-fukushi.ac.jp
日本福祉大学への電話でのお問い合わせはお避け下さい。